

保健統計

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：医療・看護分野のほとんどの分野において他の分野に比べると個体変異の大きい数値データや質問紙調査のようなデータを扱うことが多い。このようなデータの解析に対して、共通に適用できるような数学的基礎を学ぶと共に看護分野に必要とされる統計解析上の基礎的知識を修得し今後の看護師業務および保健師業務や看護学研究に反映させる能力を養う。人口統計領域においてはEBN（科学的根拠に基づく看護学）の概念を理解し、実践能力を養う。特に基幹統計における人口統計を理解するための資料の調査、調査の種類などを良く知る。保健統計と現在の社会、医療状況との関連を推測することができる。現在の状況を基にして社会、人口構造の将来について考え、看護師、保健師のかかわり方を捉えることができる疫学的思考態度を身につける。

■**到達目標**：①研究法とデータの収集方法について理解する。
②統計学の基本的概念である代表値、散布度、母集団、統計量などの基礎的事項を知る。
③統計的手法の基礎となる推定、検定についてその考え方を理解する。
④人口統計と保健・医療統計について理解し、人口構造・動向が社会、医療に与える影響について学ぶ。
⑤情報処理の基礎を知り、情報のセキュリティを身につけてデータベースの使用ができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎片倉 洋子・槇 洋一

■**授業計画・内容**：

- 第1回 研究とは何か
- 第2回 データの種類・4つの尺度
- 第3回 記述統計Ⅰ（図、表、代表値、散布度）
- 第4回 記述統計Ⅱ（確率分布と標準化）
- 第5回 記述統計Ⅲ（散布図と相関）
- 第6回 記述統計Ⅳ（相関と回帰）
- 第7回 推測統計Ⅰ（母集団と標本・点推定）
- 第8回 推測統計Ⅱ（区間推定と仮説検定）
- 第9回 推測統計Ⅲ（t検定）
- 第10回 推測統計Ⅳ（分散分析）
- 第11回 推測統計Ⅴ（カイ二乗検定）
- 第12回 人口統計・基幹統計の調査方法、各種統計
- 第13回 各種統計と現況の動向
- 第14回 人口統計・日本の人口動向と世界の統計
- 第15回 平均・健康寿命、死亡の統計

■**教科書**：統計学の基礎（11回）：教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。

後半（4回）：教科書は使用しません。「国民衛生の動向」を参照する

■**参考文献**：『基本からわかる看護統計学入門』／大木秀一（医歯薬出版）

『基礎から学ぶ楽しい疫学』／中村好一（医学書院）

『国民衛生の動向』／厚生労働統計協会

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標 ①、②	到達目標 ③、⑤	到達目標 ④		
定期試験	◎【前半】		◎【後半】	前半、後半とも定期試験60%の正解を合格 (後半は下記項目も参照される)	前半73% 後半27% (全体で100%)
小テスト・ 授業内レポート			○	理解をしている	後半の10%
授業態度			○	質問に答えられる	後半の5%
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生学、疫学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：前半担当教員（槇）より

研究法の紹介と実際にデータを分析するときに必要な統計を扱います。授業で扱う話題の性質上、どうしても難しくなるときがあります。できるだけわかりやすく説明していきますが、それでもわからないときには積極的に質問してください。